

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2018/8/1 ~2018/8/31)

1. 勉学の状況

今学期、メキシコを含め、世界中から約300人の学生がモンテレイ大学へ留学をしています。これは通常の学期と比べ100人ほど多いらしく、日本人も私を含め8人おり、とても驚いております。世界中から集まった多くの学生と交流を持てることは大変素晴らしいことですが、英語で行う授業が大変人気で、なかなか希望の建築デザインに関する授業は取れませんでした。その代わり普段千葉大学では学んだことのなかった、住環境インテリアデザイン(Espacios Residenciales)とランドスケープデザイン(Est de elementos del paisaje)の授業を取ることにしました。この2つの授業はスタジオ形式の授業で、毎週出される課題に対して個人、もしくはグループでデザインを毎週発展させる授業で、教授や他の国の学生からの意見を聞くことができると同時に学生の作品を目の前で見ることができると、大変有意義な授業となっています。また、事前準備に多くの時間を要し、自分のアイデアを発展させるとともに、英語でのプレゼンテーション準備によってより専門的な英語を発展させることができるため、毎週苦労しますが授業以外の時間も大変有意義に過ごすことができます。また、建築関連として近代建築歴史(Hist. De la Arq. Moderna)は日本での世界建築史よりもより細かく学ぶことができ、なおかつ日本とは違い植民地時代に建てられた教会などの近代建築を間近で見ることができ、モンテレイ中心地での建築ツアーを教授が定期的に行っており、日本ではできない体験ができました。4つ目の授業はスペイン語の授業でレベルはベーシックで授業の速度は早くはありませんが、週2回の授業でわかりやすく丁寧な授業のため、1ヶ月でだんだんと定着している感じがします。3、4ヶ月で耳が慣れてくると言われているらしく、1日でもスペイン語を話せるように毎日自主学习を行っています。



ランドスケープデザインの第一課題。スケッチで必要とされるテクニックを磨くための植栽の練習と大学の近くの空き地に公園を設計する課題。モンテレイ大学では初年度の手書きの授業に力を入れているため、ほとんどの生徒が素晴らしいテクニックを持っている。



ランドスケープデザインの第二課題。前回手書きで行ったものを今度は3Dソフトを使ってデジタルでの表現の課題。空き地内にある大きな段差を階段へ作り変え、人の居場所を設計した。



留学生サポートイベント一つ、ダウンタウンツアー



美しい山々に囲まれたモンテレイ。毎日感銘を受ける。

2. 生活の状況

去年の11月に一度メキシコにきていたため、大きなカルチャーショックなどはありませんでした。学内では英語を話すことができればほとんど不自由はありませんが、学外ではなかなか英語を話す人は見つからず、なかなか買い物などでは苦労しますが1ヶ月でだいぶ慣れてきた。食事は初めからメキシコ料理は好物だったので毎食楽しめています。また、アメリカから入ってくる牛肉が安くて美味しく、日本食が恋しくなった時にステーキをわさび醤油やわさびポン酢で食べています。

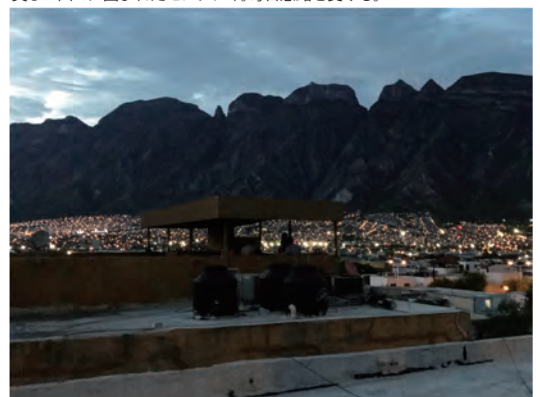
留学生歓迎イベントも多く、空港での出迎えやパーティーも多く、多くのメキシコ人や世界中の留学生と知り合うことができました。また、もともと私の研究室とモンテレイ大学との交流があるので友達が数人、もともといることは非常に大きいです。メキシコは一度受けた恩を忘れないうちに、日本では少しのサポートのみしかできなかったのですが、何倍も大きなサポートをしてくれます。家に呼んでくれたり、どこかへ連れて行ってくれたり、パーティーに呼んでくれたりと、そこからまた多くの友達を作ることができました。



モンテレイの近くの湖"La Boca"



メキシコの伝統的な朝食"chilaquiles"



モンテレイの夜景。貧困層の地域は夜美しくなる。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2018/9/1 ~2018/9/30)

1. 勉学の状況

9月に入ると授業も本格的に忙しくなりました。特に9月の2週目から3週目は中間テストや第1プロジェクトの発表期間でテスト対策の勉強とプロジェクトの発表準備を同時並行で行わなくてはならず、なかなか忙しい週でした。

ランドスケープの授業のプロジェクトはグループで進めました。普段の英語での会話は何とかできますが、専門用語が必要とされる会話ではなかなか苦労しましたが、自分の考えを発信し、海外の学生の建築やランドスケープデザインの考え方を学ぶいい機会になりました。特にこちらの学生はデジタルソフトに強く、建築サイトに出てくるような3Dパースペクティブの作成能力が高く、驚かされました。また、グループのうちの一人は植物に詳しく、こちらでよく見る植物の生態を学ぶことができました。

インテリアの授業では第一課題のプレゼンテーションと模型製作を行いました。自分としては時間がながいながらも及第点の仕上がりでしたが、先生は私のアイデアと模型を大変気に入ってくださり、良い点数をくれました。右の写真はスタディー模型ですが、本模型は写真を撮る前に教授が、「これ日本に持って帰らないよね?もらってもいい?」と言われたので差し上げました。モンテレイ大学は設備がしっかりしているため、学生はレーザーカッターや3Dプリンターなどを使って模型を作ることが多く、全部カッターと専用ののりで作ったことを話したら教授も生徒たちも大変驚いていました。日本人の手先の器用さを見せてやりました。

24日から30日はPULIワークショップに参加しました。今年の調査地はユカタン半島の都市、メリダから1時間半ほどのイサマルという小さな街の色彩調査を行いました。町の多くの建物が黄色に塗られており、「黄色い町」(La Ciudad Amarilla)の別名がある街です。私と同じ研究室の学生3人と合流し、調査を行いました。モンテレイはだんだんと秋に近づき過ごしやすくなりましたが、メリダのような南の方は湿気が多くて暑く、体調を崩した学生もいましたが無事終わることができました。

2. 生活の状況

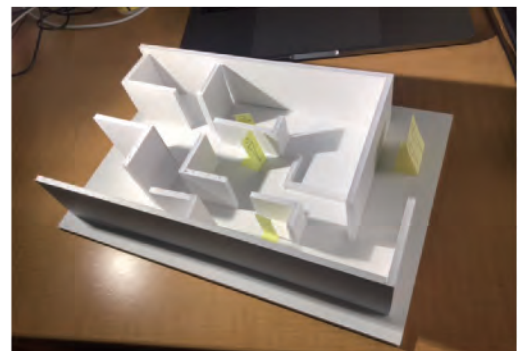
学業で追われる中、9月の1週目には留学生が各々の国の料理や、踊りなどを披露する、半期に一回の国際交流イベントがありました。私たちはこちらで作れる料理を検討した結果、お好み焼きを作りました。ソースなどはアジア食品店で買いましたが、他はスーパーで揃いました。15枚ほど朝から焼きましたが、大盛況ですぐに全部なくなりました。特に作った本人である私たち日本人が久しぶりに食べたお好み焼きに感動していました。

また、留学生で構成されるサッカーチームに加入しました。ヨーロッパから来る学生もさることながら、メキシコの学生は技術が高く、毎試合とてもレベルが高くてついていけません、楽しくやっています。

今月は私の誕生日があり、友達が誕生日パーティーを施してもらいました。たくさんの友達や知らない友達まで来てくれて、人生で一番大きな誕生日パーティーでした。



1週間で仕上げたプレゼンテーションボード
教授からはたくさんの指摘を受けたが、大変良い刺激になった



スタディー模型。本模型は教授に持って行かれてしまいました。



黄色い街、イサマル



お好み焼きは外国人にも受けました。



毎週木曜はサッカー

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2018/10/1 ~2018/10/31)

1. 勉学の状況

10月は中間テストやプロジェクトの発表など盛りだくさんな月でした。

ランドスケープデザインの授業では、クラス全員、14人でやるプロジェクトでした。このプロジェクトでは、モンテレイで今問題とされている話題を取り上げて、学生同士で協力して解決策を探りました。取り上げた問題はモンテレイに生息する黄色い蝶です。この蝶は寒さをしのぐために一年を通して南北へ移動するのですが、道路の整備によって、蝶たちが移動する自然の道が失われてしまっています。その蝶の道を取り戻すために、モンテレイを囲む山々をそれぞれ繋げる道を作り、蝶の移動を容易にするというコンセプトを設定し、それぞれをつなぐ公園の設計のマスタープランを作りました。

インテリアデザインの授業では『理想の住宅』の設計を行いました。この課題ではメキシコ内で問題となっている環境問題と貧困問題を取り上げ、ローコストで環境に優しい住宅を設計しました。最初の方はグループワークに手間取りましたが、最後はうまくまとめることができました。

スペイン語の授業では、テストでいい点数をとりましたが、未だ自分の年齢や専攻、お腹が空いたなどしか言えませんが、聞き取れる単語も増えて来た気がします。このまま授業を受けながら、自主学習を行なってどんどん話せるようになりたいと思います。

2. 生活の状況

10月の半ばに寒気の影響でいきなり気温が下がり、気温の差にびっくりしています。特に冬服はあまり持って来ていなかったので、母に追加で送ってもらうことにしました。朝と昼の気温差も大きくなって来たので体調に気をつけたいです。

生活面では去年千葉大に来ていた学生の家族と食事したりと充実しています。何かにかけてメキシコの学生は夕食やパーティーに誘ってくれるため、暇な日のない生活を送っています。友達の家族も僕を夕食に温かく迎えてくれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、こちらでの生活にも余裕が出て来たので、最近ではよく料理をしています。先日は日本のカレーが食べたくなったので、日本人の友達やメキシコ人の友達を呼んでカレーを振舞いました。日本食はこちらでとても人気があり、とても喜んでくれました。特に僕ともう一人の日本人が久しぶりのカレーに感動していました。

最近空いている日には友達や知り合いから聞いたオススメのタコスレストランによく足を運び、自分のお気に入りの店を探しています。店によってタコスのスタイルやサルサの種類が違ったり、人によって好みのタコスが全く違うので、その違いを楽しんでいます。もっとも、僕にとってはどのタコスも美味しくタコス屋巡りは楽しいです。11月に日本から学生が来るのでその時にお気に入りの店に案内できればと思っています。



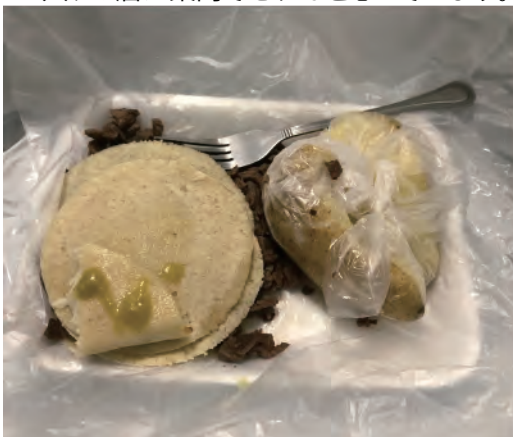
ランドスケープデザインの課題。クラス全員、14人でA1ボード3枚にまとめた。



インテリアデザインの課題。環境問題に対応した住宅を設計した。



Día de los Muerto、日本では『死者の日』と呼ばれる祝日。お盆のようなもので、至る所で花屋ドクロが飾られる。ダウンタウンには写真のような大きなドクロが飾られていた。



arracheraという牛肉を使ったタコス。現時点で一番美味しいタコスだと思った。



寮でカレーを作り、友達に振る舞った。



去年千葉大に留学していた友達との夕食。その日限定でたこ焼きがメニューにあり、日本と変わらぬ味だった。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2018/11/1 ~2018/11/30)

1. 勉学の状況

11月は12月の期末テストや最終プレゼンに向けた準備に大半を費やした月でした。ヨーロッパからの留学生はセメスターが終わる前に帰ってしまうので、多くの留学生が取るスペイン語のテストは11月の半ばにありました。いい点を取れましたが、まだまだ全然話すことができないので、冬休みはスペイン語の勉強に費やしたいと思います。また、インテリアとランドスケープの授業はグループで話し合ったり、教授と進捗状況を確認しながらアドバイスをいただき、最終プレゼンに向けて作業を進めています。

また、9月に行なったPULIプログラムの調査結果の発表会があり、このプログラムでの来年の春の短期留学を希望する学生たちの前で調査の成果を発表しました。今回行なった調査はメキシコシティから少し離れたプエブラとユカタン半島メリダから離れたイサマルという街でした。プエブラはみんな知っていましたが、イサマルはメキシコ人もあまり知らない町で、全部の建物が黄色い町の存在に驚いていました。日本への短期留学を希望する生徒は年々増加しているらしく、日本人にとっては嬉しいことです。ですが同時に、年々競争率が上がってるらしいです。来学期もモンテレイ大学にいますので何かしらの形でサポートできればと思っています。

2. 生活の状況

11月の初めにはメキシコの最も有名な祝日である、『死者の日』がありました。死者の日当日にはモンテレイ大学の近くにある墓地に行きました。墓地は決して大きくないのですが大きな祭壇が置かれていたり、マリアッチのライブがあったり、出店が出ていたりと非常に賑やかで、私は二回も行ってしまいました。メキシコ人の明るい国民性からか、死者の日でも明るく祝っていました。

半ばには同じ研究室の先輩がモンテレイに訪れました。久しぶりに会えた気の許せる日本人と会えたのは非常に嬉しかったです。夜はお気に入りのタコス屋やレストランに先輩方を連れて行きました。非常に喜んでくださって私の非常に嬉しかったです。いろんなメキシコ人の友達に連れてってもらった美味しいお店が非常に役立ちました。4ヶ月しかまだモンテレイにいませんが人を案内できるほどこの場所を知れているみたいです。また、モンテレイ大学から15分ほど離れたところにあるチピンケ自然公園(Parque Ecologico Chipinque)に初めて行きました。モンテレイ大学から山を一つ挟んだところにあるのですが、都市から少し離れたところにある公園とは思えないような自然が広がっていて驚きました。



PULIプログラムの発表。約30人の生徒たちの前で発表した。



ランドスケープ。グループで話しながら、トレーシングペーパーに何度も書き直し、プロジェクトを進める。



Dia de los Muerto、日本では『死者の日』と呼ばれる祝日。お盆のようなもので、墓地も色鮮やかに飾られる。



Puztel Aztecaという、メキシコの一般的な朝食chilaquilesをミルフィーユ状に重ねてオープンで焼いた料理。今まで食べたメキシコ料理で一番美味しく、感動して涙が出そうでした。



メキシコでお祝いや誕生日などの際に行うピニャータ。中にはキャンディが入っていて、これをぶら下げ棒で叩き割る。友人の誕生日会でやった。



モンテレイの市街地からさほど離れていないが、都会の喧騒が一切感じられない。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2018/12/1 ~2018/12/31)

1. 勉学の状況

12月は区切りの月でした。特に授業の最終週は課題の発表とテストに追われました。ランドスケープの課題は4人グループで行い、最後の発表では担当の教授と発表を見に来た教授から大変良い評価をもらうことができました。

この学期では授業の勝手もわかったので、次の学期ではより大きな成果が期待できると思います。

またスペイン語でもなんとなく会話ができるようになってきた気がします(?)がまだまだ頑張っていきます。来学期では中級スペイン語の授業を取るのでみんなに置いて行かれないように頑張ります。

2. 生活の状況

12月は多くのイベントがある月でした。まずは、日本とメキシコの交流イベントの餅つき大会に参加しました。私は初めて餅つきをやったのですが三日ほど筋肉痛が続きました。メキシコ人もこのイベントには興味津々で大変盛り上がりました。もちや3つの味、醤油、きな粉、チョコレートだったのですが、どの味も大変人気がありました。

特に大きなイベントはクリスマスでした。全人口の約9.1%をカトリック教徒を占めるメキシコではクリスマスは『死者の日』や『ハロウィーン』と並ぶ大きなイベントでした。またメキシコではイエス・キリストの両親である、マリアとホセが、出産のための場所を見つけるための旅にでていた期間であるクリスマス前の9日間である『Posada』という期間があり、12月が始まってから約1ヶ月クリスマス祝っており、日本のような忘年会はありませんが毎週のようにパーティーがありました。クリスマス前の週末は『Saltillo』というモンテレイから一時間ほどの街にいきました。モンテレイと比べ中心地はよりメキシコっぽさのある伝統的な街並みでした。またクリスマス当日は友達の祖父母の家に行き、ディナーに参加させてもらいました。日本とは違ってクリスマスは家族と過ごす日で、全員で30人くらい家族が集まっていました。みんなとても親切で、暖かく迎え入れてくれ、メキシコのクリスマスを体験することができました。

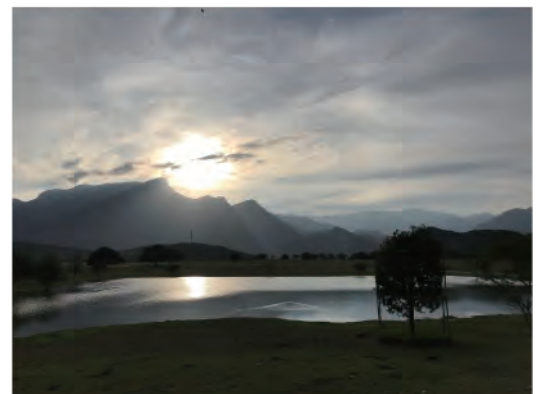
年末には友達がモンテレイから一時間ほどの動物園へ連れてってくれました。そこには様々な動物がいて、なおかつ日本の動物園よりも近くで動物たちを見ることができました。大都会から少し離れれば大自然に触れることができるのがモンテレイの魅力だと思いました。この動物園にはサファリもあり、メキシコとは思えない大自然が広がっていました。



ランドスケープデザインの課題。かなりボリュームのある課題でした。



餅つき。かなり重労働でした。



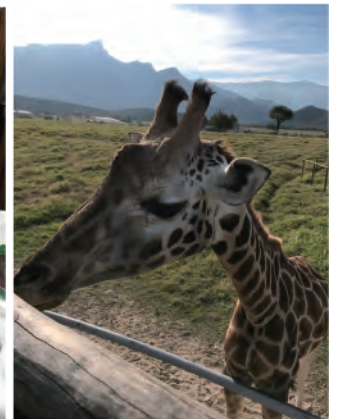
メキシコとは思えぬ大自然。



サルティーヨの街並み。



クリスマスのディナー。



近い動物たち。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2019/1/1 ~2019/1/31)

1. 勉学の状況

1月に入ってから新学期が始まるまで、スペイン語の自主学習に励みました。というのも、学校では英語を話せば十分なのですが、友達や家族の集まりなどに招かれると、英語を話す人があまり多くないので、もっと話せるようになりたいと思って勉強を頑張りました。また、新しいルームメイトがペルーからの留学生で英語を話さないというのも理由の一つです。努力の甲斐もあって、新学期からの中級スペイン語では自分で言うのも恥ずかしいのですがかなり上位にいます。また、先生や友達から「スペイン語上達したね」など言われることが増え非常に嬉しいです。この調子でスペイン語をこっちで頑張り、日本に帰っても勉強を続けて、スペイン語検定などを受けようと思います。

今学期は先ほどの中級スペイン語に加えて、「アーバンデザイン」、「アーキテクチャーデザイン」と「インテリアデザイン」の授業を履修しました。どの授業もデザインの授業なので授業の時間外に行う作業が多く、忙しいですが、常に充実した日々を送っています。特に日本と比べて先生と生徒の距離が近いので、より丁寧に教えてくれるのがモンテレイ大学の強みだと再確認しています。

「アーバンデザイン」では電車の駅舎とその周辺の改修、「アーキテクチャーデザイン」では市民ホールを含めた複合施設的设计、「インテリアデザイン」では大学内のギャラリーのインテリアのデザインと3つのスケールの違うプロジェクトが動いています。

「アーバンデザイン」の敷地見学のため、モンテレイの電車に初めて乗って、対象の敷地となる駅へ行きました。最初は少し不安でしたが、モンテレイ出身の友達と共に行ったので平気でした。

対象となる駅はヌエボレオン州立大学の一つ手前の駅で、公園がありました。また、公園内にはメキシコ人建築家の巨匠の一人、「リカルド・レゴレッタ」デザインのヌエボレオン州立大学付属図書館がありました。外観は大胆な幾何学を使って設計されていますが、中は意外とこじんまりと設計されていて、落ち着いたのある非常に良い建物でした。リカルドレゴレッタ設計の建物はモンテレイ内にいくつかあるのですが、この図書館がモンテレイ内の建築で一番のお気に入りです。また、こちらの学生はあまり、存在を知らない、あるいは行ったことがない生徒ばかりで、教授はそのことについて残念がってました。

2. 生活の状況

大晦日は友達の実家に招かれ、友達とその家族、親戚と過ごすことができました。モンテレイはBBQで有名なので冬でも御構い無しでBBQでした。みんなでテーブルを囲んで夕食を食べ、お酒を飲みながら談笑し、そして最後はみんなで踊る、一般的なメキシコの大晦日を体験することができました。

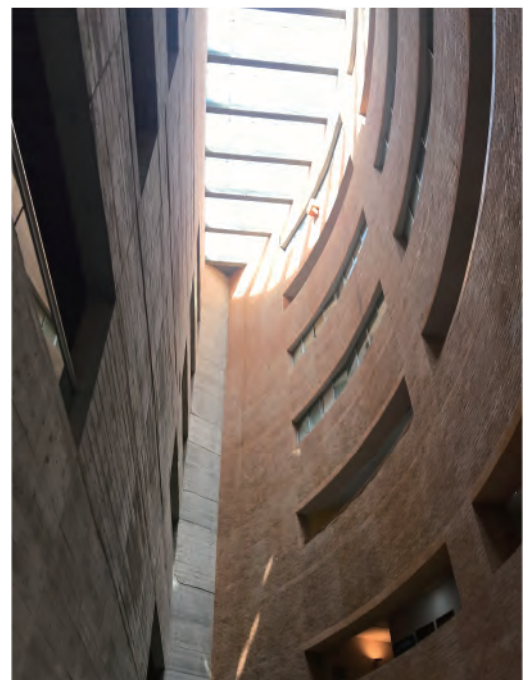
先月に引き続き、今月は年明けの餅つき大会があったのでお手伝いをかねて参加しました。餅つき大会は盛り上がったのですが、それ以上に、こちらの企業で働いている日本人の方が、お雑煮を作ってください、久々に優しい、日本の味に感動してしまい、何杯もお代わりをしてしまいました。だんだん日本食が恋しくなってきました。



メキシコで初めて乗った電車。最初の方は地下鉄となっています。車社会のメキシコですが、ヌエボレオン州立大学に通う学生などで混んでいました。二つの路線が現在あるのですが、新たに二つの路線を建設中です。



私のお気に入り、ヌエボレオン州立大学付属図書館。



大きな吹き抜けと、メキシコでよく利用される天窓。非常に開放感があるとても良い空間でした。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2019/2/1 ~2019/2/28)

1. 勉学の状況

前の学期も忙しかったですが、今期はさらに忙しいです。常に三つのプロジェクトをこなさなくてはならないのは、日本でも経験したことなかったので、効率的にスケジュールを組むのが一番重要だとわかりました。

しかし、デザインが行き詰まって進まない辛いですが自分のアイデアを発信していくのは楽しいです。特に、大体の授業で留学生は僕だけのことが多いので、他の学生も興味津々で聞いてくれます。

2. 生活の状況

2月の大きなイベントの一つは目の学期に引き続き様々な国からきた留学生が自分たちの国の料理や伝統的な出し物などを披露する「iFair」というイベントがありました。この学期は長岡技術科学大学からの短期留学生が13人加わって非常に大きなチームとなりました。また、彼らはそうめんやそばなど、日本料理を振る舞う用意をしてメキシコに来てくれたので、非常に楽しく、また人数が多いので楽にできました。また、出し物は何年か前に流行った、

「PPAP」と二人羽織を披露しました。「PPAP」は少し古いので盛り上がるか心配でしたが、日本人の息のあったダンスで非常に盛り上がりました。二人羽織も最初は外国人はみんなあの笑いを理解してくれるか心配でしたが、最後は他の学生も参加して非常に盛り上がって安心しました。入賞はできませんでしたが前回以上に楽しかったです。特に、長岡からの学生たちが非常に賑やかで、普段以上に日本人と話す機会が増えたので、わずかですが、少し日本に戻ったような気がしました。彼らは1ヶ月で帰ってしまいましたが、メキシコを僕のように楽しんでくれたようなので嬉しいです。

気候なのですが、だんだんモンテレイはあったかくなってきました。しかし、朝夜の気温差は激しく、稀にぐっと気温が下がることがあるので体調管理が大変です。多くの留学生が体調を崩していましたが、僕も遅れて風邪をひいてしまいました。

また、特に嬉しかったことが、昨年の10月に母に送ってもらった荷物がやっと届いたことです。3ヶ月をかけてやっと届きました。10月にすぐにモンテレイには届いていたものの、詳しくはわからないのですが、メキシコ郵便が協力会社を切り替えたのがきっかけで、倒産してしまったようで、そこで混乱が生じ、一度メキシコシティに全部送り返され保管されていたようです。2/14にやっと届いたのですが、人生で最高のバレンタインデーでした。また夜に行ったレストランも最高でした。



メキシコで初めて結婚式に招かれました。規模は小さいですが、家族や親戚の集まる温かい会でした。ご飯もおおあちゃんの手作りでとても美味しく、最後はみんなで踊り出す賑やかな夜でした。



前日は真夏の気温なのに次の日は真冬のような気温になることもあります。少し気をぬくと完全に体調を崩します。



「インテリアデザイン」第二課題は住宅のインテリアデザインの課題。実際の先生の自宅を回収するというテーマです。その住宅のある、新興住宅地の一角から撮った写真です。ほぼ同じ家が並ぶ少し不気味な住宅街です。



「アーバンデザイン」の授業では、駅の横の駐車場を改修し、公園を設計しました。



iFairで一枚。長岡からの生徒がいるため、人数の甥チームの一つでした



ダンスも二人羽織は非常に盛り上がりました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2019/3/1 ~2019/3/31)

1. 勉学の状況

3月は常に第2タームの発表準備に追われていました。インテリアデザインのクラスでは先生の自宅のインテリアをデザインする課題でした。また、ただデザインするだけでなく、デジタルを活用している建築家を研究し、それを何らかの形でインテリアに応用するという課題でした。先生がエストニア出身の方なので、スカンディナビアデザインの家が、ユルゲン・マイヤーと言うドイツ人建築家が多用する白いものに飲み込まれていくと言うコンセプトにしました。最終発表では先生が自分の母国語でやってもいいと言ったので日本語で発表しました。言葉は全く通じませんでしたが、平面図や写真でほしい理解できたようです。建築が時には共通言語になるのだと思いました。また、先生にも生徒にもとても気に入ってもらえることができました。他の生徒の作品のクオリティーも非常に高く、常に発表は勉強になります。

アーキテクチャーデザインのクラスでは2人のグループで作業をするはずだったのですが、パートナーがほとんど何も仕事をせずほぼ一人でやり、大変でした。特に最後の週はインテリアデザインの発表とも重なり、あまり寝ることができませんでした。たまに全く仕事全くしない生徒もいるようです。大変でしたが、模型も作り終えなんとか形にはなりました。

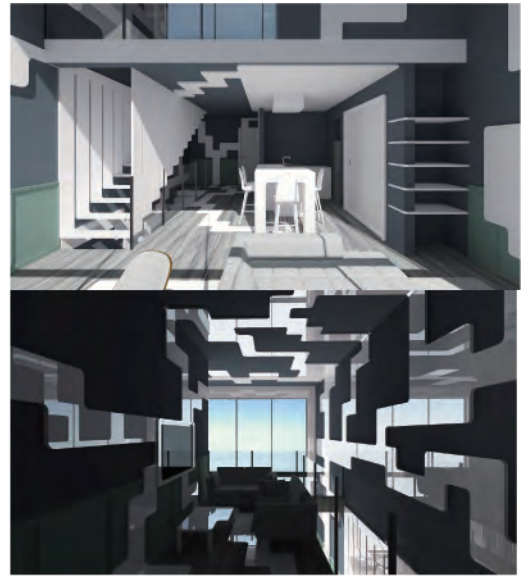
最後タームでは全力を尽くしたいと思います。

2. 生活の状況

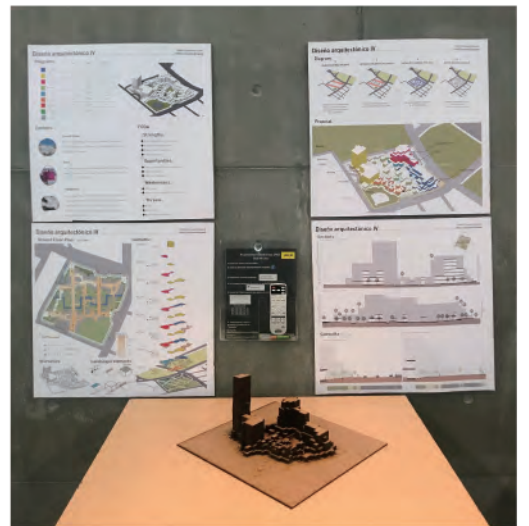
最近では勉学の方が忙しく、あまり出かけられませんでした。建築を学ぶ学生は日本でもメキシコでも忙しいと実感しました。その中でやはり出かけると非常に楽しいです。モンテレイはとて大きな街なので様々な国の料理やレストランがあり、食事が好きな私には外食は本当に楽しいです。メキシコ料理は当然美味しいのですが、他の国の料理も美味しいです。たまに非常に日本食、特にラーメンを食べたくなるときは食べに行ってしまう。モンテレイには4店舗ほどラーメン屋があります。値段は少し割高ですが本当に食べたいときは食べずにいられません。日本に帰ったら一番に食べたいものかもしれません。

また3月には何人かの誕生日パーティーがあり非常に盛り上がりました。メキシコ人の「遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強する」の切り替えに驚かされます。大きなイベントとしては、とても仲の良い友達の結婚式に招かれたので行ってきました。会場はロデオをやる場所でした。あいにく見ることはできませんでしたが雰囲気は感じれました。天気はあいにくの雨でしたが非常に盛り上がり、3時くらいまで続きました。

残り2ヶ月となってしまいましたが、悔いのないよう最高に楽しみたいです。



「アーバンデザイン」の授業では、駅の横の駐車場を改修し、公園を設計しました。



模型とプレゼンシート。



メキシコ料理「チラキレス」
地元で有名なお店で、ランチタイムは非常に混雑していました。



できたばかりのラーメン屋でのラーメン。
美味しいですが、日本食は少し割高です。



メキシコで二度目の結婚式に行ってきました。家族や親戚の集まる温かい会でした。ご飯も美味しく、お酒がとても進んでしまいました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2019/4/1 ~2019/4/30)

1. 勉学の状況

4月は常に最終タームの発表準備に追われていました。インテリアデザインのクラスでは学校内にあるスターバックスコーヒーを回収し、スムージーバーをデザインする課題です。インテリアの授業は千葉大学にはないので非常にデザインするのは難しいですが、試行錯誤しながらやるのは楽しいです。また今回は石をメインの使うというテーマなので、建材工場を授業で訪問しました。工場は大きく、たくさんの種類の石を見たり、石の加工の過程をベン行することができました。

建築デザインの授業はかなり大詰め新时期になりました。この課題もだいたい形は決まってきたので、あとは細かい部分と最終プレゼンテーションの準備に入っていきます。

2. 生活の状況

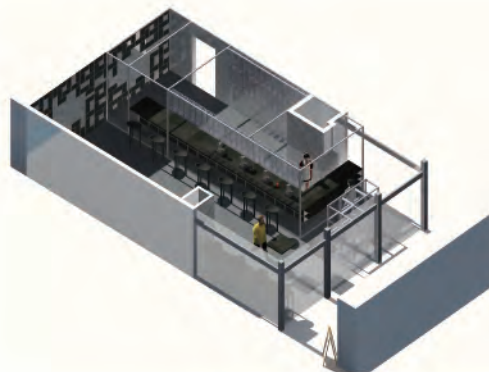
4月も勉学の方が忙しく、あまり出かけられませんでした。建築を学ぶ学生は日本でもメキシコでも忙しいなとさらに実感しました。貴重な休みの日にはBBQや自然公園に行ったりしました。BBQは友達のBBQのスペシャリストが企画してくれました。肉の仕込みやソースの作り方、焼き方などを細かく教えてくれながらやってくれました。焼き加減などもちゃんと管理しながらやっていたので、非常に美味しかったです。特にモンテレイに入ってくる牛肉は非常に美味しいのでとても楽しむことができました。

自然公園は緑豊かで心も体もリフレッシュできました。モンテレイは最近空気汚染が酷く、メキシコシティや中国にも匹敵するくらい汚いのですが、山の中は非常に空気が澄んでいました。

また4月の大きなイベントとしては、映画「アベンジャーズ/エンドゲーム」の公開です。日本ではアメリカンコミック系の映画はあまり人気ではありませんが、メキシコでは大人気です。特に今回は10年前から続いているシリーズで、22本目の映画です。26日からの公開だったのですが、25日の深夜からのプレミア上映を見たかったのですが、1ヶ月前のチケットの発売日には映画館のWebページもパンクしていて、ネットでは買えず、映画館に行っても混んでいました。特にポップコーンの列はとんでもない行列でした。日本と違って多くの友達とも映画の話ができるのがとても嬉しかったです。



インテリアデザインの授業では、最終プロジェクトが「石を使う」というテーマなので、建材工場へ行きました。見たことのない石や加工技術などをまじかで見ることができました。



スムージーバー、だいたい方向性は定まってきたので、あとは細かいところや家具、外のテラスなどをデザインしていきます。



建築デザインのシビックセンター。空気汚染を軽減するため、緑をたくさん設けています。



BBQ、骨つきの肉が一番美味しかったです。



映画にはみんなで同じTシャツを買って、見にいきました。



自然公園。とてもリフレッシュできます。